

# 道内では今年“初めて”タンザニア留学生のインターン受入開始



ABEイニシアティブ  
企業インターンシップ

北海道を拠点に肉牛、酪農および食品事業を営むノベルズグループでは、JICA(国際協力機構)の「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(African Business Education Initiative for Youth、以下、ABEイニシアティブ)により帯広畜産大学へ留学中のタンザニア人のインターン受け入れを(※無報酬)、2016年9月20日(火)～9月24日(土)にかけて開始する。今年に入ってから道内では初めて、また上士幌町においては本事業導入以来でも“初めて”の受け入れ先企業となる。

平成27年9月中旬より帯広畜産大学大学院食品衛生学への留学生としてタンザニア出身の獣医師が来日。大学で得た専門的な知識を活かし、実際に日本の家畜生産現場を体験することが目的である。本人は母国で獣医師を開業していることから、肉牛ならびに酪農の繁殖技術への関心が高く、今回のノベルズグループで得た体験をもとに、タンザニアでの獣医師業務に活かしたいと考えている。

研修  
プ  
ロ  
グ  
ラ  
ム

- ・9月20日(火) ・会社説明・牧場見学
- ・9月21日(水) ・繁殖部門 現場体験
- ・9月22日(木) ・酪農部門 現場体験・見学
- ・9月23日(金) ・哺育部門 現場体験
- ・9月24日(土) ・AM 食品体験・見学 / PM情報交換会

※専任の通訳がつきます。  
9/23(金)のみ、英語を話せる弊社スタッフが通訳を代行します  
※取材等のご希望ございましたら日程調整させていただきます

## これまでの取り組み・期待されること

JICAは中央アジアの畜産、畑作および食品関係の民間企業が研修員として国内の生産現場を視察する「中央アジアアグリビジネス研修」について取り組まれており、ノベルズグループでも国際協力ならびに地域共生を目指し、現場視察を年に1回受け入れてきた。今回の海外留学生のインターン受け入れにおいても、日本語が使えない社員の受け入れ体制の見直しや、スタッフが共に働く従業員の多様性を受け入れることで視野が広がるキッカケになることが社内で期待される。

## 国内インターン受入も同時並行で受入中

2016年8月から9月中旬にかけては国内の学生のインターン受け入れについても取り組んでいる。牛の受精卵を扱う研究所での作業など、専門的な技術の補助を体験することで、国内においても専門的な学生の採用に力を入れている。

※ご参考「ABEイニシアティブプログラム」：<http://www.jica.go.jp/regions/africa/business/internship.html>

株式会社ノベルズ - お問い合わせ先 -

本田三華 (担当/広報) 090-1521-1424

お電話にて“プレスリリースの件で”  
とお伝えいただくと幸いです

〒080-1408

北海道河東郡上士幌町上士幌東3線259番地

TEL 01564-2-3360 FAX 01564-2-4672

URL <http://nobels.co.jp/>

